



第
65
号

ぽっかぽか

図南病院新設部



『創傷ケアセンター』のご案内

外科 久 晃生

特定医療法人久会図南病院は、地域の医療を支える重要な施設として長年にわたり医療サービスを提供してきました。その流れの中で当院の柱の一つとして、平成16年4月に創傷ケアセンターを開設、ミレニアメディカルと連携し、最新の知見をアップデートしながら急性および慢性創傷の治療を行っています。

■創傷ケアセンターの特徴

創傷ケアセンターは、急性および慢性の難治性下肢創傷・褥瘡（床ずれ）に対する包括的な治療を提供しています。下肢慢性創傷の原因としては、外傷・PAD:Peripheral Arterial Disease（末梢動脈疾患）・糖尿病・下肢静脈瘤・放射線照射後・血管炎・膠原病などがあります。原因の究明と対策は、創傷治療において重要です。

当センターでは、下肢ドップラー（HTT）・ABI:Ankle Brachial Index（足関節上肢血圧比）・SPP:Skin Perfusion pressure（皮膚灌流圧）・下肢動脈

超音波検査・造影CT検査・MRI・下肢動脈造影検査（カテーテル検査）等を用い診断を行っています。

■ミレニアメディカルとの連携

当院の創傷ケアセンターは、ミレニアメディカルとの連携により、さらに質の高い医療サービスを提供しています。同社は、1999年より、アメリカ・ロサンゼルス足病医療と創傷ケアに取り組んでいます。日本では聞き慣れない言葉ですが、足病外科はアメリカでは外科の一分野として確立された存在です。糖尿病患者の多いアメリカで発達した創傷ケアセンターの治療内容やコンセプトをプログラム化したものを連携し当院に導入しています。

●最新技術の導入…革新的な治療技術や製品を導入することで、治療効果を高め、患者さんの回復を促進しています。例えば日本での保険適応以前からのNPWT:Negative Pressure Wound Therapy（局所陰圧閉鎖療法）やPRP:Platelet Rich Plasma（多血小板血漿療法）の

導入など

●専門知識の共有…足病専門医の李家医師と当院医師が定期的に情報交換を行い、最新の治療法や研究成果を共有しています。これにより、創傷ケアセンターは常に最前線の医療知識を保持しています。

●予防医療…慢性創傷治療だけでなく、創傷形成前のリスクの高い患者に対する予防診療への取り組みを行っています。

図南病院創傷ケアセンターは、今後も質の高い医療サービスの提供を目指し取り組んでまいります。できる限り足の切断を回避し、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供することに注力していきます。また、地域の医療機関との連携も強化し、創傷治療における包括的なサポート体制を構築していきます。

特に、糖尿病を有し足に傷のある方は悪化する前に是非創傷外来を受診してみてください。また、神経障害のある患者さんは定期的に自分の足に傷が出来ていないかチェックする習慣をつけましょう。



地域連携室からのお知らせ

地域連携室長 山中 峰抄

令和7年4月地域連携室は6人体制となりました。凶南病院の理念に即し「私たちは地域にとってよりよい医療・介護をめざし努力を続けます。」と掲げています。

入院されると「このままの状態です。今まで通りの生活ができるのか？」「昼間は一人になるけど大丈夫だろうか？」など退院するまでにはたくさん心配ごとがあります。地域連携室のスタッフは、

入院時から退院後の生活を見据えた看護や支援を行っていただけるよう、院内の多職種・地域の医療機関の先生方、在宅医療・介護の提供者の皆様と一緒に患者さんに切れ目ない医療・看護・介護サービスが提供できるように支援調整し、患者さんやそのご家族が住み慣れた地域で自分らしい生活をおくることができるようお手伝いをする役割も担っています。

患者さんの置かれている生活環境や社会背景などはそれぞれ違い、適切なサービスの利用条件とは合わないことや、ご希望に添えないこ

ともあり全て円満解決とはいかず心苦しいことも多くあります。相談者である患者さん・ご家族の思いや、その人らしさを大切にしながらお困りごとの解決のお手伝いができると思っています。

【前方支援】

①入院受け入れの窓口として、他病院からの紹介や相談の窓口の役割を担っています。相談は主に電話でのやり取りが中心です。紹介された患者さんの情報を読み取り、医師に受け入れ可否についての相談を行います。

②外来部門では、他の病院を退院され、今後は当院への受診を希望されている方の受け入れを行っています。受診日の予約をとりスムーズに診療が受けられるように連携を図ります。

③入院・転院されてきた患者さんが、この先困らないように後方支援へと繋げていきます。

【後方支援】

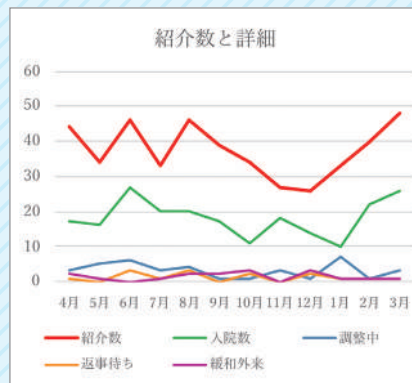
①前方と情報共有を行い、入院時あるいは転院されてきた時から今後の連携を取ります。ご自宅に帰る準備・施設入所を希望の方の支援・退院前の自宅訪問・住宅環境の支援など行っています。

②医療福祉に関する様々な相談に對してや、介護保険制度・経済的問題・金銭管理についての対応も行っています。

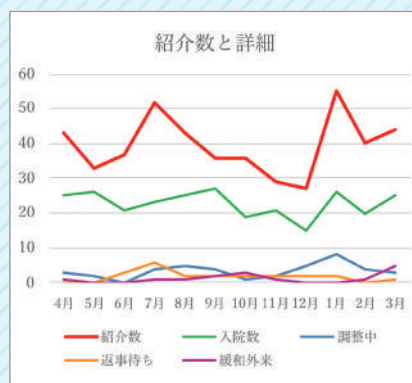
患者さん・ご家族はもちろんのこと、院内のスタッフの方も業務の中で相談したいことがあります。たら、遠慮なくご連絡下さい。



2023年度 転院相談件数と詳細



2024年度 転院相談件数と詳細



外来部門のご紹介



外来看護師の主な役割は患者さんがスムーズに診察や治療を受けられるように医師・患者双方のサポートをすることです。

外来には、生活習慣病をはじめとする慢性的な疾患で長期にわたる治療を受ける人、健診で問題を指摘され再検査のため受診する人、術後の経過観察のために来院する人、終末期療養をされている人などさまざまな患者さんが訪れます。1日に数多くの患者さんが来院するため限られた時間内での確にアセスメントし、処置や指導などを行うことが大切です。

外来看護師は、病棟と在宅、地域福祉との連携を図り、支援を必要とする人に継続した看護を提供する重要な役割があります。受診時に必要な情報を収集、アセスメントし、患者さんのニーズに対し、多職種連携を図りながら介入しています。また、救急対応時には迅速な判断力や、患者さんが安心・安全に検査、治療を受けることができるよう、患者さんに寄り添い一人ひとりに合った看護の提供も



求められています。患者さんが病気を持ちながらも住み慣れた場所で安心して生活できるように、多職種と連携をとりながら在宅支援をおこなってまいります。

毎日忙しいですが、患者さんに信頼される技術とホスピタリティが提供できるよう笑顔忘れず日々頑張っています。

『ぽっかぽかマルシェinとなん』 始めました!!

マルシェ実行委員会

令和7年2月28日、地域と共に、患者さんと共に、関南病院で働くスタッフと共に楽しみたい、そして関南病院に気軽に足を運んでもらうことを目的に「ぽっかぽかマルシェinとなん」を開催しました。

主な内容は、お菓子やアクセサリ、お弁当の販売、エステや占い、ふれあいドッグ等、たくさんのお楽しみイベントがありました。初めての開催なので、不安いっぱいでしたが、当日を迎えましたが、本当にたくさんの方に来ていただき、大盛況で終える事が出来ました。出店頂きました皆さまからも、とっても良いマルシェだったと言って頂き、また次回も参加しますと嬉しい言葉を頂きました。普段は通り過ぎるだけの東館1階



が、とてもたくさんの方の笑顔が溢れる空間になりました。これから、3カ月に1回のペースで開催を予定しており、現在楽しい企画を準備中です。皆様のご参加をお待ちしております。



部門紹介

医療安全管理部・感染管理

感染管理看護師 藤田 愛

感染制御医師である久晃生副院長指示のもと、病院を利用される全ての人や医療従事者を感染から守る為、感染管理を担当しております看護師の藤田愛と申します。

まだまだ勉強中ではありますが、私がこれまで大切にしてきた「すべては患者さまの為に」という言葉を忘れずに、院内の感染に関わる全ての業務に尽力して参りたいと思います。

感染対策に関する

図南病院の取り組み

病院長直下で感染対策委員会があり、その実動部隊として感染制御チームICT (Infection-ControllTeam) を設置し、感染対策教育・啓発を行っています。

▼ICTの活動

患者さんには、常に衛生的な環境で療養していただけるよう各部署の環境ラウンドを行って

います。ラウンドでの指摘事項について、各部署は早急な改善に努めてくれています。

院内感染予防の基本である標準予防策の実施、正しい個人防護具の着脱、手洗いチェックや手指消毒薬の使用量向上に向けて取り組んでいます。

▼標準予防策とは・

すべての患者さんに対して、感染予防策の為にを行う予防策のこと。患者さんをお守りすることとはもちろん、医療者自身も守る為に必要な対策です。

各種ケアや処置等の際に、適切な個人防護具（マスク・手袋・エプロン・アイゴーグルなど）を身につけて患者さん対応を行わせて頂いております。



▼手指衛生への取り組み・

院内感染を予防する為には、職員全員が正しい手洗いや手指消毒を行う必要があります。擦式消毒薬の使用量をモニタリングすることで適切に手指衛生が行えているか評価をしています。



手指消毒使用量は部署ごとに毎月集計を行い連携施設に報告しています。

手指消毒におけるWHO5つのタイミングで手指消毒が実施できるよう取り組み中です。

▼WHO5つのタイミングとは・

①患者さんに触れる前、②清潔操作無菌操作の前、③体液に暴露する可能性のある場合、④患者さんに触れた後、⑤患者さんの周辺の物に触れた後

これらに該当する場面で、擦式アルコール剤を用いた手指消毒を行う必要があります。また、蛍光塗料を用いた手洗いチェックも行っています。

洗い残しの多い箇所について、ICTメンバーで共有し各部署でフィードバックしてもらっています。



▼他施設との連携

感染対策向上加算1の届出を行っている施設との年4回の合同カンファレンスに参加。

連携加算1の届け出施設が主催する新興感染症の発生等を想定した訓練に年1回以上参加。





令和7年4月21日、春のぽかぽか陽気のもと、図南病院東館2階の広間でオカリナ演奏会を開催しました。オカリナの音色は、降り注ぐ柔らかな日差しと調和して優しく響き渡り、多くの患者さんやスタッフを癒してくれました。ギターやパーカッションとオカリナの調和、心躍る楽曲、参加者全員

「オカリナ演奏会」を開催しました

で歌う「上を向いて歩こう」など、楽しい企画が盛り沢山の演奏会は、音楽を感じて心身ともにリラックスしたひとときとなりました。

参加していただいた方、ご協力いただいたバンドeNの皆様、ボランティアの皆様感謝申し上げます。



▲バンドeNの皆さん

オカリナ：yuko ギター：Ryohei パーカッション：Yuirei






木浦さんちのこことぷりん

キラリ
目力あり

Uchinoko Jiman

マイペース...

ZZZ...

名前:ここ (三毛)

性別:女の子 **性格:**私が一番

今年15歳になるおばあちゃんです。毎朝決まった時間に起こしてくれます。(休みの日も…)

名前:ぷりん (白黒)

性別:女の子 **性格:**マイペース

鼻の黒い毛がトレードマークです。目力はありませんが気は弱いです。

(R7年1月~)

内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	吉岡 沖	上田	小笠原	上田	越智	沖 (第1,3週)
午後	上田	沖	吉岡	沖 水田	吉岡	

整形外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	藤田	溝渕	吉本	吉本		
午後	吉本	藤田		(手術)	藤田	

外科						
	月	火	水	木	金	土
午前	高野	久(晃)	久(晃)	小河	高野	担当医
午後	担当医 (高野or久(晃))	小河	高野	久(晃)	小河	

創傷ケアセンター						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		津野(巻爪)		久(晃) 津野		

泌尿器科						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後	小林					

図南病院

インフォメーション

外来診察日程

放射線科						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	久(直)	
午後						

麻酔科(ペインクリニック)						
	月	火	水	木	金	土
午前						
午後					神原 (心療ペイン)	

内視鏡検査						
	月	火	水	木	金	土
午前	久(晃)	横田/吉岡	小笠原	久(晃)	越智	
午後		横田/吉岡			久(晃)	

緩和ケア内科						
	月	火	水	木	金	土
午前	神原		神原			
午後	高野 神原		神原 小河		神原	

※外科 久明史医師は、令和6年12月1日より関連施設の久病院へ異動となりました。

- ◆内科・整形外科・創傷ケア・緩和ケア内科・ペインクリニック・泌尿器科は予約制です。電話予約もお受け致します。
- ◆ご予約に関するお電話での受付時間は、午前は8:30~12:00、午後は1:30~5:00となります。(12:30~1:30は予約の変更等の受付はできません)
- ◆初診の方は、問診や検査等に時間を要しますので、午前は11:00まで、午後は3:00までにご来院くださいますようお願い致します。
- ◆水曜日の外科外来は、手術のため変更になる場合があります。
- ◆土曜日の担当医は、毎週変わります。詳しくはホームページの土曜日診療日程表をご確認ください。



◀ホームページ
(外来診療日程)
はコチラから

診療時間		
	午前	午後
平日	8時30分~12時	1時30分~4時30分
土曜	8時30分~12時	休診
日曜 祭日	休診 但し、急患は随時受け付けます。	

緩和ケア

がん患者さんの、心と体の苦痛を緩和するための治療に取り組んでいます。緩和ケア外来、訪問診療、緩和ケア病棟、訪問看護ステーションにて支援いたします。まずはお電話にてご相談ください。

各種健診

自治体の各種健診を実施しています。特定健診、高知市大腸がん検診および大腸精密検査、市町村胃内視鏡検診、高知市肝炎ウイルス検査、高知県風しん抗体検査をお受けしています。

創傷ケアセンター

糖尿病性足潰瘍、血行障害や骨の変形が原因で起こる潰瘍など、慢性創傷に対して専門的訓練を受けた医師が治療を行います。予約制での診療となっております。

人間ドック

当院では、日帰り人間ドックとして、がんドック、脳ドック、その他オーダーメイドコースをご用意しています。皆様の健康管理にぜひご利用ください。





発行
特定医療法人久会 図南病院
〒781-0806 高知市知寄町1丁目5-15
TEL 088-882-3126

編集 図南病院新聞部 編集長 高野 篤

